

枚方市立図書館

おすすめの子どもの本

2019



■2017年10月から2018年10月に出版された本の中から、特におすすめする本を選び、
子どもの本に関わる大人の方へお伝えするために作成しました。

■本の情報は、書名、著者名、出版社名、図書館での分類記号、対象年齢の順になっています。

2019年4月発行 発行者：枚方市立中央図書館 電話 050-7105-8121 F A X 072-851-0962

えほん

いろいろななかぞくのはほん

メアリ・ホフマン/ぶん ロス・アスキス/え
すぎもと えみ/やく 少年写真新聞社
エホナーアス【幼児～小学校高学年】

この本には、いろいろな家族がでてきます。父だけ・母だけの家、父母がおらず祖父母と暮らす子の家。母が2人の家や、父が2人の家、養子や里子のいる家もあります。一緒に住む人、住むところもそれぞれです。家族みんなで働く家もあれば、だれか1人が働きに行く家、仕事なくて困っている家もあります。家族の気持ちはみんな一緒ですか？あなたの家族と似ている所はありますか？いろいろな家族の価値観・多様性について考えさせられます。



おもちのかみさま

かとう まふみ/著
佼成出版社 エホナーカト【幼児】

お百姓の娘が台所でおもちを見つけました。いったいつからあったのかわからないおもちは、焼いてもふくらまず、硬くて食べられません。捨てられたおもちは、誰にも食べられまいと心に決め旅に出ました。旅人や立派な窯を持っているお屋敷の奥さんも懸命に焼きますが歯が立ちません。私は特別なおもちだと気を良くして、高い山にこもり修行をしていると、神様が現れました。おもちは、七輪の上で朝までふくれずにいると神様にしやると言われます。メリハリのある構図やユーモラスな表現で子どもに迫ります。



わたしをわすれないで

ナンシー・ヴァン・ラーン／さく
ステファニー・グラエギン／え
角野 栄子／やく マイクロマガジン社
エホノークラ 【小学校低学年～小学校高学年】

お料理もお菓子作りもお掃除も何でも上手に出来るやさしい私のおばあちゃん。だけど、おばあちゃんは少しずつ変わってきました。少しずつ波がゆっくりひいていくように忘れんぼになっていきます。幼いジュリアはおばあちゃんの身に何が起きているのかまだわかっていません。「認知症」という少し重いテーマを扱っていますが、家族の絆が途切れることはないことを教えてくれる心温まる絵本です。この後、おばあちゃんはどうなっていくか、ジュリアと一緒に見届けてみませんか。



スタンリーとちいさな火星

サイモン・ジェームズ／作 千葉 茂樹／訳
あすなろ書房 エホノージエ
【幼児～小学校低学年】

母さんが泊りがけで出かけると聞いて、幼いスタンリーはヘソを曲げます。庭へ行ってダンボールの宇宙船に乗り、カセイジンになりきり、お父さんの作った晩ごはんにケチをつけ、学校で友達とケンカします。母さんが帰ってくると、ダンボールの宇宙船に乗り、帰ってきて地球の男の子スタンリーに戻る、という自分なりの儀式をします。そしてやっと素直に母さんのいない間の悪行の数々を並べ、「会いたかった」と言うのでした。母親がいなくて寂しい幼い子どもの気持ちと、父親と兄がそれを暖かく見守る様子が描かれていて好感が持てます。



タイヤタイヤだれのタイヤ

そく ちよるうおん／作
アリス館 エホノソク 【乳児～幼児】

子どもたちが大好きないろんな乗り物。この作品は、そのタイヤがクローズアップされた絵本です。「タイヤ タイヤだれの タイヤ？」の言葉に合わせて、いろんな色、いろんな大きさ、いろんな顔の車たちが登場します。タイヤからどんな乗り物かを一緒に当てっこしたり、擬音の響きを楽しんだり、いろんな楽しみ方ができる絵本です。読み聞かせにぴったりのこの絵本をお子さんと一緒に楽しんでみませんか？同じ作者の絵本「バスがいっぱい！」「でんしゃがいっぱい！」も図書館で所蔵しています。



ぼくってかわいそう！

パメラ・ダンカン・エドワーズ／作
ベンジー・デイヴィス／絵 久保 陽子／訳
フレーベル館 エホノージェイ
【幼児～小学校中学年】

前足にちくっとトゲがささってしまって、「はあ、ついてない」ってため息をつく犬のウィンストン。医者に行く途中、友達にいつものように遊ぼうと声をかけられますが、自分の不幸を自慢するように嘆き、先に進みます。その裏でウィンストンが声をかけた友達がみな大変な目にあっているとも知らず・・・。
登場する動物たちの表情がユーモラスです。背景もすみずみまで楽しめる工夫があり、ストーリーを追うだけでなく楽しみ方もできます。どの場面にもいるネズミたちにも注目です。
不幸自慢をユーモアたっぷりに表現しています。

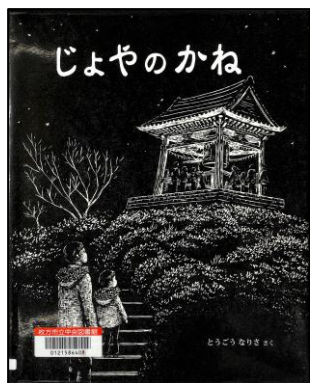


じょやのかね

とうごう なりさ／さく

福音館書店 **エホノートウ**【幼児～小学校低学年】

除夜の鐘をついたことはありますか。鐘をつくための列に並んで自分の番を待ち、夜のお寺で大晦日の夜から新しい年のお正月に変わる瞬間を迎えるのは、大人も子どももわくわくします。この本は、男の子がお父さんと



一緒に除夜の鐘をつくために出かけた大晦日の夜のように描いています。いつもとちがう雰囲気の大晦日の夜の町や、鐘をつきにきた人々でにぎわうお寺の境内が、黒一色刷りの版画で印象的に表現されています。寒いなかで飲むあたたかい甘酒のおいしさや、新しい年を今か今かと待つ期待感を思い出させてくれる絵本です。

いっぺんやってみたかってん

はっとり ひろき／作

講談社 **エホナーハツ**【乳児～小学校低学年】

雨ふりで誰もいない公園。遊具たちは動き出し、自分たちの「いっぺんやってみたかったこと」に挑戦していきます。砂場がぶらんこ、ぶらんこが滑り台、滑り台が砂場で穴ほり!?文章だけでは想像できないそんな様子を、ぜひ絵と一緒に



に見ていただきたいです。遊具たちと一緒に遊ぶ可愛い人型のミニ砂場にも注目です。

勢いのある絵とユーモア溢れる関西弁で、思わず笑い声を漏らしてしまう絵本です。「ぶらんこのおしりってそこなんか!」という驚きを体感してみてください。

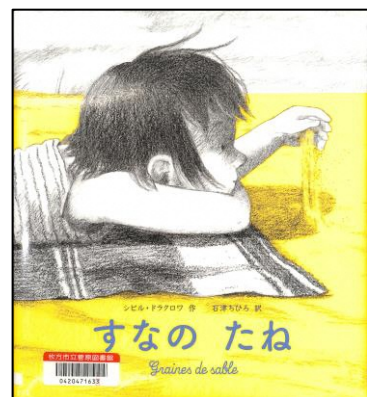
すなのたね

シビル・ドラクロワ／作

石津 ちひろ／訳

講談社 **エホノートウ**【幼児～小学校低学年】

夏休みが終わり、あたたかしたち家族は海から帰ってきたばかりです。あたしは、サンダルからこぼれおちた砂を植物のたねみたいに家の前にまいてみました。何が生えてくるのでしょうか？パ



ラソル、かざぐるま、レモン味のアイスクリーム、砂のお城…。姉弟が、楽しかった海辺での思い出に浸りながら想像を広げます。モノクロの鉛筆画に砂や砂のたねから生まれたものは黄色で彩られています。姉弟の満足感が静かに伝わる絵本です。

クレーンからおりなさい!!

ティバ・フェルトカンブ／作

アリス・ホッフスタット／絵 のざか えつこ／訳

フレーベル館 **エホナーハツ**

【幼児～小学校低学年】

バートは工事現場を柵の外から眺めるのが大好きで、いろいろな工事車両を動かしてみたいと思っていました。いつも昼休みには工事のおじさん達から柵の中に入ってはいけないと言われていました。入ったらお巡りさんが来るということも



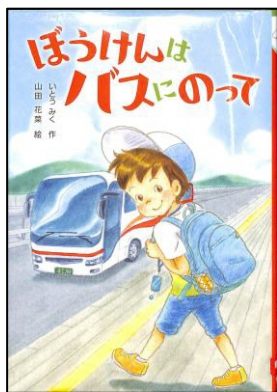
知っていました。ある日ちびっこだから入るのは無理と言われたバートは何かを見つけました。ちびっこでもこわがりでもないバートは少し考えて柵の中に入り、おまわりさんをよんでねといいました。次々と工事車両を動かすバートに向かってお巡りさんは「クレーンからおりなさい!!」バートは何を見つけたのでしょうか？描き込まれた絵に答えがあります。

日本のものがたり

ぼうけんはバスにのって

いとう みく／作 山田 花菜／絵
金の星社 ヤサシイイト
【小学校低学年～小学校中学年】

毎年夏休みになると、お姉ちゃんと一緒に山梨県にあるおばあちゃんの家に行っていたタク。だけど今年は、受験生のお姉ちゃんがおばあちゃんの家には行かないと言い出しました。それなら1人で行く、と言ったタクですがお母さんは大反対。おばあちゃんの家でカブトムシを捕まえたり、釣りをしたりすることを楽しみにしていたタクは落ち込みます。するとお父さんが、今年はタク1人で行ってみるか、と言いました。高速バスに乗って、おばあちゃんの家までの、タクの冒険が始まります。



四人のヤッコ

西内 ミナミ／作 はた こうしろう／絵
鈴木出版 ヤサシイニシ
【幼児～小学校中学年】

自分がもう一人いたらどんなに便利だろうなあって思ったことはありませんか。この物語の主人公ヤッコはひとりっ子です。いつもママにおこごとを言われ、うんざりしています。もし、自分にそっくりな子がいたら、苦手なピアノの練習も学校の宿題も代わってもらえるのに、とっていました。すると、ヤッコにそっくりな子が次から次にあらわれ、ヤッコは四人になりました。ヤッコは嫌なことは彼女たちに押しつけて喜んでいましたが、なんだかつまらなく感じてしまいます。ヤッコの気持ちが伝わってくる楽しいお話です。はたこうしろう氏の絵も魅力的です。



グランパと僕らの宝探し

ドゥリンビルの仲間たち

大矢 純子／作 みしま ゆかり／絵
朝日学生新聞社 F-オオ
【小学校高学年～中学生以上】

舞台は広大なオーストラリア。「魚臭い！」誕生会に招待した友達が発した言葉を引き金に、淳也は級友にいじられるようになります。そんな折、淳也は転校生ジェイソンと知り合い、彼の祖父（グランパ）の農場に遊びに行くようになります。淳也が学校での出来事を話すうち、グランパに「お前は友達に嫌われている」とみすかされます。そこでグランパが隊長となり、淳也・ジェイソンで「一生の宝」を探すゲームが秘密基地で始まりました。人間関係を考え、どのように自分で人生を切り開けばいいのか、グランパはさりげなく導いてくれます。児童だけでなく、親や教育者にも読んでほしい1冊です。



ソラタとヒナタ

ともだちのつくりかた

かんの ゆうこ／さく くま あやこ／え
講談社 F-カン
【小学校低学年～小学校中学年】

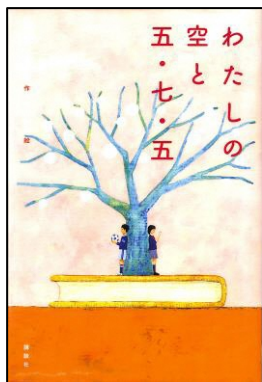
くまのソラタは住んでいた森を離れ、新しい森にたどりつきました。そこで大きな穴に落ちて困っていたキツネの子を助けます。その子は自分の名前や誕生日も知りません。家族もいません。そんなキツネの子にソラタは名前を付け、誕生日を作り、その森に住む決心をします。初めはツンとしていたキツネの子ですが、包容力があるソラタの対応に、少しずつ心を開いていきます。また、ソラタの「ともだちって、しぜんにできるものだからね」という言葉は、友達作りに悩んでいる子の背中を押してくれます。心温まる友情の物語です。



わたしの空と五・七・五

森埜 こみち／作 山田 和明／絵
講談社 **F-モリ** 【小学校高学年～中学生以上】

中学生になっても内弁慶の空良（そら）は、クラスに溶け込めず友だちもつくれないうちでいました。ひよんなことから文芸部に入部し、クセのある二人の先輩の指導で同じ新入生の静香とともに俳句を始めることになりました。打ち込めるものが見つかったのもつ



かのみ、クラスメートの颯太が上級生に暴力を受けている現場を偶然に目撃して強い衝撃を受けます。そして初めての句会で、心の揺れを詠んだ空良の句が3位に選ばれます。話すことが苦手だった少女が俳句をきっかけに先輩や同級生との関わりの中で少しずつ自分の殻を破って変わっていきます。

ビワイチ！ 自転車で琵琶湖一周

横山 充男／作 よこやま ようへい／絵
文研出版 **F-ヨコ**
【小学校中学年～小学校高学年】

「ビワイチ」とは自転車で琵琶湖を一周することです。6年生の斗馬は友達の一太とサイクルショップ主催のビワイチのイベントに挑戦します。ビワイチをいっしょに走るのは個性豊かな5人の小学生です。はじめはバラバラだった5人ですが、ビワイチの完走を目指して走るうちに友情も深まります。一泊二日のビワイチを通して、子どもたちの成長する姿が生き生きと描かれています。



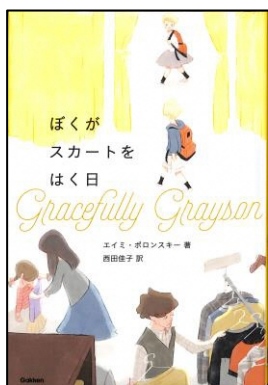
自転車で走ることが好きな子どもたち、子どもと一緒に自転車で走りたい親におすすめの本です。琵琶湖の風景も楽しめます。

外国のものがたり

ぼくがスカートをはく日

エイミ・ポロンスキー／著 西田 佳子／訳
学研プラス **N-ホロ**
【小学校高学年～中学生以上】

12歳のグレイソンは身体の性は男ですが、心の中では自分は女の子だと思っています。もやもやとした気持ちを抱えながら男の子の服を着て、男の子として学校へ通うグレイソンはある日、演劇のオーディションが開催されることを知ります。迷った末にグレイソンは女神の役のオーディションに挑戦する決意をし、見事その役を射止めます。しかしそれは同時に、周囲の好奇の目にさらされるということでした。グレイソンはクラスメイトらから心ない悪意をぶつけられながらも、信頼できる先生や個性豊かな先輩たちに支えられ、勇気をもって一步を踏み出します。



ジュビリー

パトリシア・ライリー・ギフ／作
もりうち すみこ／訳 さ・え・ら書房 **N-ライ**
【小学校高学年～中学生以上】

幼い頃、母親に捨てられたことで選択性無言症になったジュディスのことを、叔母は最高の喜び「ジュビリー」と呼びます。話すことはできないジュディスですが、その代わり絵を描いて自分の気持ちや言いたいことを伝えます。昔は仲良く遊んでいたのに、避けられるようになったソフィーに対する思い。自分を捨てた母への思い。自分が何か悪いことをしてしまったから、母もソフィーも自分から離れていったのだろうか。ジュディスはどのように悩みを解決していくのでしょうか。



ちしきえほん

たのしいローマ数字

デビッド・A・アドラー／文
エドワード・ミラー／絵 千葉 茂樹／訳
光村教育図書 **チシキ 411**
【小学校中学年～中学生以上】

1・2・3…はアラビア数字。I・II・III…がローマ数字です。VII・VIII・IX・Xまではなんとか読めても、L・C・D・Mなどはどうですか？ローマ数字ってデザインの的にオシャレな印象でカッコイイので、現代でも時計の文字盤や本、建物等で目にすることも多いのに、キチンと読み方を学ぶ機会は少ないのではないのでしょうか？実はローマ数字を使って7ケタ以上の数字を表すこともできるのです。この本では親しみやすいイラスト仕立てでローマ数字の基本ルールがわかります。この本を読んで自信をもってローマ数字の読み書きができるようになりますよ！



虫のしわざ探偵団

新開 孝／写真・文
少年写真新聞社 **チシキ 486**
【小学校低学年～小学校中学年】

虫は、野山や公園、庭など気をつければあちこちにいますが、様々な方法で隠れていてなかなか見つけることができません。ところが小さな虫たちは、生きていくうえで痕跡や造形物を残します。それが「虫のしわざ」です。この本は、穴のあいた葉っぱや泥団子、面白い形をした繭など、虫の隠れ場所や生活の様子を見ながらどのような虫がそこにいたのかを、探偵団になったつもりで探していきます。「虫のしわざ」を推理することで、見たこともない虫に出会えるチャンスがあなたにも訪れるかもしれません。



もりのほうせきねんきん

新井 文彦／写真・文 ポプラ社
チシキ 473【幼児～小学校高学年】

「ねんきん」は漢字で書くと「粘菌」です。「ねばねばした菌」という意味で、アメーバの仲間です。この本では、森の中にいる粘菌を大きく、美しい写真で紹介しています。ホコリのような胞子で増えるため、すべての粘菌に「～ホコリ」という名前が付けられており、世界で900種類以上、日本では500種類以上います。また、粘菌は大都市でも見ることが出来るそうです。巻末にこの本で紹介している粘菌の名前も載っています。公園や木がたくさん生えている場所で「もりのほうせき ねんきん」を探してみませんか。



ごろりんたまねぎ

いわさ ゆうこ／さく
童心社 **チシキ 626**【幼児～小学校低学年】

台所にあるたまねぎの正体に迫ります。茶色の薄皮をむくと、つるりと真っ白ですが、切り方によって色々な形になります。アリシンという成分が目にしみたり、辛かったり、でも栄養素がたくさん含まれ、色々な料理に使える万能野菜です。芽が出た玉ねぎを土に植えると、春には葉っぱが伸び白いぼんぼりのたまねぎぼうずが出来て、種が出来ます。畑に撒くと、根元がぶっくり膨らみ、葉っぱが倒れたら収穫時期です。軒下に干して保存します。厚い皮が重なって見えるたまねぎですが、それは栄養素をため込んだ葉です。色々なたまねぎが紹介され、丁寧な美しい絵も楽しめる絵本です。



明治まると歴史図鑑 1

文明開化で日本はこんなに変わった！

深光 富士男／著 河出書房新社 210

【小学校高学年～中学生以上】

この本では特に社会風俗に焦点をあて、身近なもので当時の文化事情を説明し、文明開化とはどういうものだったのかを分かりやすく説明しています。文明開化もしくは、当時の文化事情はどうだったかを調べるには非常に有効な本です。明治時代に出版された絵や写真が多数掲載されています。挿絵や写真をうまく配置し分かりやすい構成になっています。また、移り変わる時代を項目に分けて変化を追っているのが面白いです。明治時代の文化とわたしたちの暮らす平成を比べてみるのにも役立ちます。



アイヌもっと知りたい！ くらしや歴史

北原 モコットウナシ／監修 蓑島 栄紀／監修
岩崎書店 382【小学校高学年～中学生以上】

先住民族アイヌについて、その民族・風習と歴史がまとめられています。アイヌの言葉で章立てされていて物の名前や説明にもアイヌの言葉が添えられています。北海道はもとより東北地方まで、もともとがアイヌ語であったものに漢字があてはめられ、そのまま地名として今も残っているのを見ると広く生活していたのだなあと思いをはせることができます。アイヌが先住民族として法律で認められるまで長い年月がかかりましたが、経済的な問題や差別もまだ残っており、お互いの立場を考え、認め合うことの大切さをこの本で知ることができます。



目でみる水面下の図鑑

こどもくらぶ／編 東京書籍 400

【小学校中学年～中学生以上】

皆さんは水の中の世界について考えたことはありませんか。この本では身近にある田んぼやプール、湖だけでなく海の中まで覗くことができます。水の中の生き物たちはどんな生活をしているのでしょうか。海はどうして青色に見えるのでしょうか。「氷山の一角」ということわざがありますが、実際の氷山の海中部分はどんな状態なのでしょうか。そんな様々な疑問をこの本は解決してくれます。普段地上で生活している私たちには見ることが出来ない水の中の世界を、あなたも覗いてみませんか。



惑星MAPS～太陽系図絵～

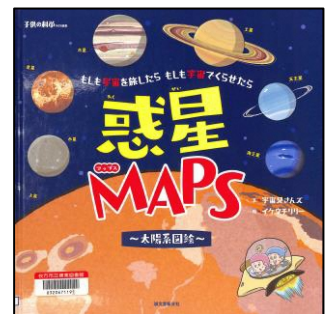
もしも宇宙を旅したらもしも宇宙でくらせたら

宇宙兄さんズ／文 イケウチ リリー／絵

誠文堂新光社 445

【小学校低学年～小学校高学年】

「1年よりも1日のほうが長い星」、「ダイヤモンドがふっている星」、「42年昼が続いて、42年夜が続く星」、えっ？そんな星、本当にあるのって言いたくなりますが、実はこれ、みんな太陽系にある星なんです。まだまだ謎は多いのですが、科学技術の発展にともなってすこしずつ明らかになってきた太陽系のそれぞれの惑星や衛星の特徴を、最新の研究データをもとに大きくカラフルな絵や写真でわかりやすく解説しています。個性の強いユニとコスモの2人組とロボット1体といっしょに太陽系探検に出発しましょう。



池の水をぬいた！ ため池の外來生物がわかる本

加藤 英明／文 越井 隆／イラストレーション
徳間書店 462【小学校中学年～中学生以上】

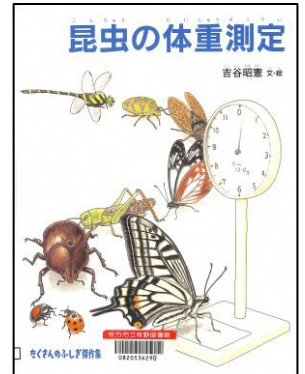
みなさんは、湖や沼と池の違いを知っていますか？湖や沼は水が自然にたまった所で、池は人間が作ったものです。そもそもどうやって池をつくったのか？西日本に池が多いのはどうしてなのか？農家と漁師が協力して池の水ぬき（かいぼり）をするのはなぜなのか？写真や絵を用いてわかりやすく説明しています。また、かいぼりでつかまえた外來生物の特徴や被害を紹介するだけでなく、生態系を守るためにわたしたちにできることはどんなことか、また、外來生物の調べ方も紹介されています。本の大きさを生かした見やすい構成です。



昆虫の体重測定

吉谷 昭憲／文・絵 福音館書店 486
【小学校中学年～小学校高学年】

身近な生き物の重さはどれぐらいでしょう。小さなテントウムシの重さは軽すぎて普通の秤では測れません。そこで電子天秤という、扉の付いている特別な秤を使って測ります。もっと軽いヤブカの重さは0.0014グラム。714匹でやっと一円玉と釣り合う勘定になります。面白くなった著者はいろいろな昆虫の体重測定に熱中します。カブトムシとクワガタムシで重さは全然違います。また羽根がほぼ同じ大きさのオオムラサキとアサギマダラというチョウでも重さが違うなどその事実も驚きですが、理由を読むとなるほどと納得します。普段何気なく見ていることも、調べてみると思いのほか奥が深いことがわかる1冊です。



うんこ図鑑

しらべる・くらべる・おぼえる千カラが身につく！

荒俣 宏／監修 内山 大助／イラスト
いとう みつる／イラスト 日本図書センター
491【小学校低学年～小学校高学年】

これはうんこの本です！すべての生き物はうんこなしでは生きられません。食べたものはうんこになります。うんこのカタチも色もいろいろです。うんこはいろいろ役に立っています。「うんこはなにでできているの？」「口に入った食べ物はどれくらいの時間でうんこになるの？」「なぜうんこはクサいの？」うんこの「フシギ」を解決するためにはうんこのことを知らなければなりません。この本はうんこのギモンをわかりやすく説明してくれています。あなたもきっと、うんこが好きになるはずです！



りんごって、どんなくだもの？

安田 守／写真・文 岩崎書店 625
【小学校高学年～中学生以上】

りんごは私たちにとって、もっとも身近なくだもののひとつです。「ふじ」や「つがる」、「ジョナゴールド」等のスーパーなどでよく目にする品種以外にもりんごには多くの品種が存在し、その数は一万種類にのぼるとも言われています。色や味のよい品種を新たに作り出すには、数十年の時間がかかることもあります。この本では世界のりんごの品種やその歴史、植物としてのりんごの栽培過程から、りんごがくだもの売り場に並ぶまでの道のりなどを多くの写真を用いて紹介しています。おいしいりんごはたくさんの方の手間と時間をかけて、私たちのもとへ届けられていることがよくわかります。

